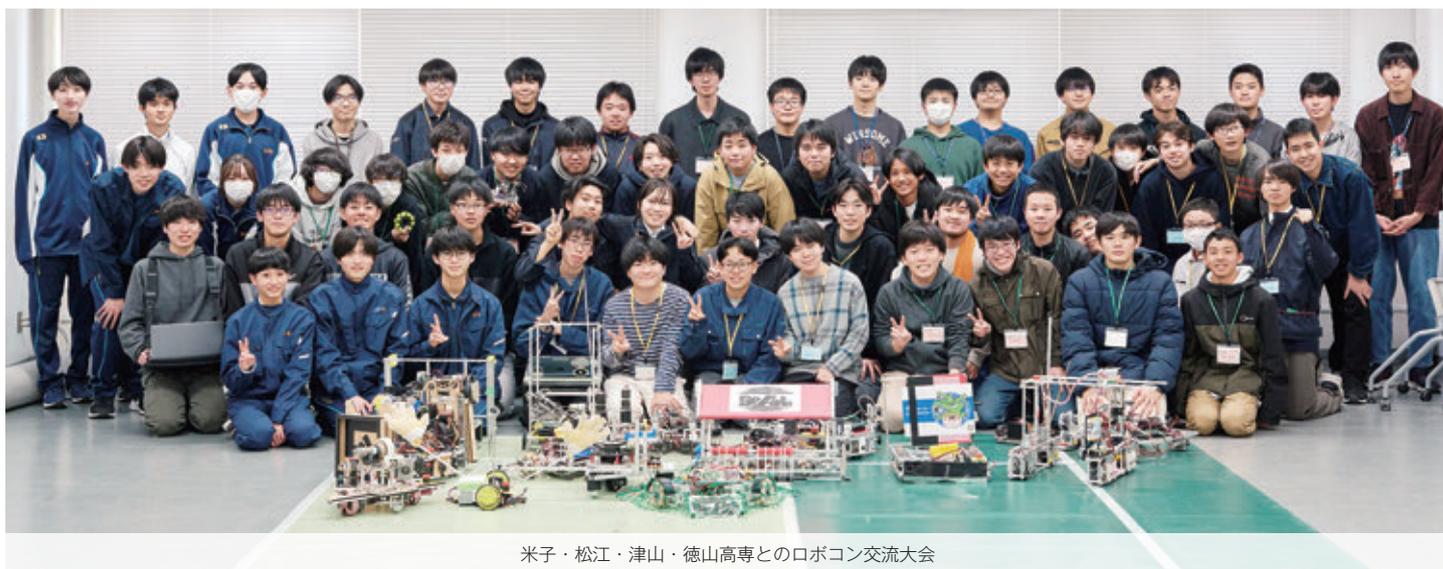


彦名通信



COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE



米子・松江・津山・徳山高専とのロボコン交流大会



マレーシア・パハン大学受入れ事業送別会の様子

Index

卒業・修了特集

5年機械システムコース	2
5年電気電子コース	3
5年情報システムコース	4
5年化学・バイオコース	5
5年建築デザインコース	6
専攻科	7
求人・進路状況	8
進路研究セミナー・球技大会開催報告	9

課外活動報告

学生表彰	10
学生の活躍	11
国際交流・ふるさと納税	13
卒業生は今 (Vol. 37)	14

図書館リベラルアーツだより 15



卒業研究発表会終了後

ご卒業によせて

5M担任 山口 顕 司

総合工学科機械システムコース第1期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私が2年次で技術史・科学史の授業を担当したことを覚えていらっしゃるでしょうか。フランス革命とメートルの起源。ネジを持ち帰った侍（来年の大河ドラマの主人公です）。胃カメラの開発に取り組んだ医師と技術者の達成感あふれる笑顔。何か皆さんの意識に残っているならば私の役目は果たせたと思います。

無駄な知識や経験、何気ない好奇心から新しいものは生まれるのだと私は信じます。先人の苦闘を知り、その「巨人の肩の上に立って」、皆さんが新しい地平を切り拓いてくださることを願います。

あらゆる自然の力を用いる尽すことから一足進んで諸君は新たな自然を形成するのに努めねばならぬ 宮澤賢治

米子高専での5年間を振り返って

5M 森下 央 翔

「総合工学科」の1期生として、入学して5年間が経ちました。授業ではスピードが速く、ついていくことに必死でした。また、寮生活では、授業と寮生活の両立に苦労したことも覚えています。1年生の頃は「こんな生活に慣れることはできるのだろうか」と不安でしたが、先生方や友達、寮の先輩方のサポートのおかげで、寮生活を楽しみながら送ることができました。また、4年生の進路を決める際にも多くの先生方にサポートしていただきました。今振り返ると、多くの方の支えがあって今の自分があるのだと、改めて感じています。これからも多くの方との繋がりを大切に、成長できるよう努力していきます。今までありがとうございました。

高専生活を振り返って

5M 吉田 浩 瑛

早くも5年が経ちました。いつの間にか米子高専に愛着を覚えていることに気がつきます。この5年間で多くのことを学び、多くのものを作れるようになりました。思い描いたものを形にする楽しさを知る一方、作ったものがうまく動かない悔しさや挫折も存分に味わいました。また仲間と一晩中語り、ときには喧嘩し、切磋琢磨した経験は私を技術者としてだけでなく人間としても成長させてくれました。振り返ってみますとここでの生活は全てが充実していたように思います。高専での学びを支えてくださった先生方、そして周囲の支えに深謝いたします。ここで得た経験を糧にこれからも学び続けます。そして学んだことを生かして社会に貢献できるよう邁進してまいります。



卒業研究発表



卒業研究発表



卒業研究発表を終えて

卒業生へのメッセージ

5E担任 石倉規雄

ご卒業おめでとうございます。新カリキュラムや本校初の混成学級をとおり、電気電子コースを切り開いた皆さんに感謝いたします。貴重な機会ですので、4つほどお願いをさせていただきます。1つ目、新しい人・ことへの出会いを大切に、いろいろなことに挑戦してください。それが財産になっていきます。2つ目、学び続けることを大切にしてください。高専の内容は必ずしも卒業後に役に立つとは限りませんが、学ぶ姿勢や方法は一生役に立つはずです。3つ目、自身も周りの人たちも幸せにできる人になってください。4つ目、たまにでよいので元気な姿を見せてください。このクラスの担任ができたことを本当に嬉しく思います。ありがとうございました。

無数の単位を探し得て

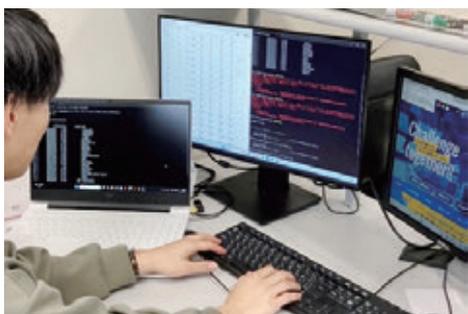
5E 井東佳希

数十年に亘る米子高専で初の総合工学科一期生として、正範を創る5年間でした。5年前、大谷翔平の46号が社会に衝撃を与えた年、同じように記事を載せた入学当初のことを思い出します。一概には抒情できませんが、当時は何事にも億劫だった私も、この5年間で技術を極め、百折不撓の姿勢を学ぶことができました。私たちはこれから、専攻科、大学進学、上京、地元就職など千差万別の可能性の中で、豊穡・開花の兆しが見えると信じて、慢心せず、阿僧祇劫の道のりを進んでいきます。待ち構える潤壑や海溝、峻岳も、高専で得た無数の「単位」と「経験」を糧に乗り越えられると確信しています。賑やかな、豊かな、不可思議な高専生活に感無量です。

高専生活を振り返って

5E 藤原ダイヤ

高専に入学してから5年が経つのだと思うと、時の流れの速さに驚きます。総合工学科として新しいカリキュラムで始まった学生生活は、若干の慌ただしさもありつつ、とても充実したものでした。1年次に5コースそれぞれの基礎を学んだことで、自分の興味・関心をじっくりと考えることができ、また他コースにも頼れる友人ができました。Eコースに進んでからも、優しく熱心な先生方にご指導いただき、より一層学びを深めることができました。ここでの約3年半は、時には大変なこともありましたが、大好きな友人たちと過ごした、とても賑やかで楽しい毎日でした。こうして素敵な学生生活を過ごせたのは、先生方、友人たち、そして家族のおかげです。心から感謝しています。



研究室での作業風景



晴れの日、グラウンドにて



卒業研究発表会

卒業に向けて

5J担任 森田 一弘

みんなが総合工学科情報システムコースの第1期生として卒業していくことを嬉しく思います。学習方法、配属の仕組みなど初めてのことが多くて戸惑うことも多かったことと思います。しかし、それらを一つ一つ乗り越えて米子高専を巣立っていきます。思い返せば、みんなはBYODやオンライン授業の本格化など情報化の恩恵を受けながら学生生活を送り、学んできたともいえます。これからの社会も情報化を、みんなは卒業後も情報技術を研究、開発、応用し、さらに社会を発展させていく基盤として活用していくことなのでしょう。しかし、覚えておいてください。AIを育てるのも人間、使いこなすのも人間、使われるのも人間、ということ。情報技術は人間を成長させるものでもあり、墮落させてしまうものでもあります。どうか、みんなが賢く情報技術を使って人間として大きく成長していくことを楽しみにしています。



5年間を通して

5J 北原 実樹

1年生の工学基礎実験でメロディを作ったことをきっかけにJコースを志望しましたが、プログラミングは実際に勉強してみると想像以上に難しく、何度も悩みました。しかし、情報系だけでなく電気系の授業も学んだことで理解の幅が広がり、就職活動にもつながりました。長期休暇に気がゆるみ、学力が落ちた時期もありましたが、先生方と友人の支えがあり、苦手科目から目をそらさずに正面から向き合ったことで少しずつ結果が出るようになりました。

一方、書道部では初心者として活動を始め、一心に半紙と向き合い何度も書き直す中で、粘り強さと気持ちの切り替えを学びました。

高専5年間を通して、自ら行動することが成長につながるのだと気づきました。このように実感できたのはJコースの先生方や友人の支えがあったからです。ありがとうございました。

高専生活を振り返って

5J 波田 折莉

中学時代、大学生だった姉の就職活動を間近で見て恐怖を感じました。そんな将来を回避したいという思いから手に職をつけることを目標に進学した米子高専では、喜怒哀楽のすべてが詰まった学生生活を送りました。Jコースに配属されてからは試験前対策教室で友人たちと励まし合い、ときには雑談で息抜きをしながら勉強したことが特に印象に残っています。また、Jコースの先生方や学生相談室の方々には学業面だけでなく精神面でも多くのご支援を頂きました。親身に寄り添っていただいたことに心より感謝しています。締め切りに追われながら必死に取り組んだ成果物の数々も今では大切な思い出です。そして、春からは専攻科へ進学しますが、多くの楽しい思い出や苦しかった記憶と少しの後悔を抱えつつ、気楽に前向きに次のステップに向かって歩んでいきたいと思っています。



卒業研究発表会

いつまでもチャレンジャーで

5C担任 小川和郎

ご卒業、おめでとうございます。総合工学科1期生として入学し、初めての混合クラス、初めてのコース配属、初めての選択科目等、初めてづくしの5年間でしたね。インターンシップ先の相談、エントリーシートのチェックや面接練習等、皆さんと一緒に過ごした日々が昨日のように感じます。4月からは新しい生活が始まりますが、いろんな初めてを乗り越えてきたみなさんなら、どんな状況にも対応できると思います。

将来、「学生時代にもっと勉強しておけば良かった。」と思う日が来ると思います。そんなときは思い切ってチャレンジしましょう。何かを始めるのに、遅すぎることはありません。いつまでも「初めて」に挑戦する気持ちを忘れずに！

高専生活を振り返って

5C 太田実里

5年間を振り返ると、入試から卒業まであっという間でした。たった10分の面接で5年間通う学校が決まるのか。変わった学校だな、と思ったのが第一印象でした。めでたく合格したのでせっかく通うからにはやりたいことをやろうと思って、先生の言葉を一言一句聞き逃すまいと授業を聞くこともあれば、爆睡することもありました。部活動にも熱中し、キャプテンまで務めさせていただきました。5年間、友達や先輩・後輩、先生方に恵まれ、とても楽しい充実した学生生活を送ることができました。友達とは就職や進学で離ればなれになって寂しいですが、それぞれが高専生活で培った武器を持って、たくましく歩んでいくんだろうなと思うと、頼もしい仲間と過ごせた5年を誇りに思います。ありがとう😊



楽しかった礒山研究室

高専生活を振り返って

5C 加藤誠望

高専で過ごした5年間は、私にとってとても楽しい時間でした。専門科目や実験は決して楽なものではありませんでしたが、友人と協力してレポートを仕上げたり、分からないところを教え合ったりした時間は、今でも大切な思い出です。また、さまざまな行事や日々の学校生活を通して、勉強だけでなく人とのつながりの大切さを学び、かけがえのない交友関係を築くことができました。学校にいただけで楽しいと感じられるほど、充実した学生生活でした。

親に勧められて何気なく入学した高専でしたが、今ではこの選択をしてよかったと心から感じています。5年間、本当にありがとうございました。



体育祭



クラス集合写真

卒業生へ

5A担任 西川 賢治

皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、総合工学科として記念すべき最初の入学生であり、総合工学科建築デザインコースの最初の卒業生です。4年生から担任を務めました。皆さんは成績優秀だと教員間での評判も高く、実際その通りでした。コロナ禍の入学で、マスク着用や三密回避の中、低学年の二年間を過ごしたとは思えないほど、想像以上に賑やかで活気あるクラスでした。振り返ればこの5年間は、世界でも日本でも、常識や想定を超える出来事が次々と押し寄せました。この流れは今後もしむことはないでしょう。時には波に乗り、時には凌ぎ、果敢に挑戦して乗り越えてください。社会に出ると、学友以外に信頼しつつも気軽に相談できる相手を見つけることは容易ではありません。学校生活で得た学友は、皆さんの一生の財産です。大切にしてください。

高専祭を通して

5A 藤田 琴羽

高専生活で特に印象に残っているのは、高専祭でキムチ鍋と鶏白湯鍋の屋台を出展したことです。私たちの学年はコロナ禍で入学したため、飲食の出し物を経験したことがなく、卒業研究のポスターセッションと並行しながらの準備に苦労しました。しかし、積極的にコミュニケーションを取りながら合間を縫って試作を重ねたり、当日のシフトのポジションを組んだり協力して準備を進めたことで、無事に当日を迎えることができました。高専祭当日は多くのお客様に来ていただき、大盛況で無事完売しました。クラスのみならず協力して一つのことをやり遂げた達成感を味わえた、とても大切な思い出になりました。



高専祭後の集合写真

リベンジ

5A 榎野 永人

5年間で私の最も記憶に残っている思い出は、デザコンの構造部門に2年連続出場して優秀賞と最優秀賞を受賞したことです。昨年度は本校の他チームが最優秀賞、自チームが優秀賞を受賞して大会7連覇とワンツーフィニッシュを達成しましたが、0.3点差で惜敗したので、個人的には悔しさが残りました。今年度は4年生から勧誘してもらい、リベンジを果たすために参加しました。大会では自チームが最優秀賞、本校の他チームが優秀賞を受賞して大会史上初の8連覇と2年連続ワンツーフィニッシュの快挙を成し遂げ、学校としても個人としても有終の美を飾ることができました。ご指導いただいた先生方、チームメンバー、切磋琢磨したチームに感謝しています。



デザコンで7連覇と8連覇を成し遂げたメンバー



集合写真

修了生へのメッセージ

専攻科長 早水庸隆

みなさん、専攻科修了おめでとうございます。専攻科修了とあわせて学士（工学）の学位を取得することになります。みなさんは、本科と合わせて7年間、工学について学び十分な基礎知識を身につけておられますが、学ぶことに終わりはありません。日々変わり続ける社会・環境の中で、その変化に適応するために学び続ける必要があります。みなさんの進む道は様々だと思いますが、素晴らしい未来がひらかれていくことを心より願っております。

童心忘るべからず

物質工学専攻2年 八田友維

長いようで短い高専生活でした。卒業する頃には立派な大人になると昔は信じていましたが、7年の間巨人工イクラを作ったり、光で水に絵を描いたりと実験で遊ぶことはやめられず、今でも面白い！と思うことを日々探しています。子供の頃と変わらず化学や学びを楽しむ心を持ち続けられたのは、この学校の皆様が温かく見守ってくださったおかげです。社会に出ても、この心を忘れず沢山の面白いことと出会いたいと思います。

「高専での7年間と感謝」

建築学専攻2年 松原ひな子

本科から専攻科までの7年間は、自身の成長を実感できた貴重な時間でした。設計課題や研究活動を通して、物事を多角的に捉える力や粘り強く考える姿勢が身につきました。悩むこともありましたが、先生方の丁寧なご指導と仲間の支えにより、最後まで充実した学生生活を送ることができました。ここで得た経験とこれまで関わってくださったすべての方々に感謝し、次のステージでも努力を重ねていきたいと思っています。ありがとうございました。



特別研究発表会での集合写真



特別研究発表会を終えて

紆余曲折の通算7年間

生産システム工学専攻2年 若林遥大

専攻科の2年間は、プログラミング教育支援システムやWebセキュリティ演習ツールの開発、そして授業実践とその結果をまとめる原稿執筆に追われる日々でした。その結果として学会発表や論文採録など、取り組みが認められやりがいを感じられたのは、紆余曲折通算7年間ご指導いただいた先生方や共に切磋琢磨した仲間がいたからです。この経験と感謝を胸に、進学先の大学院でも「全力で、研究して、研究して、研究してまいります」。



研究室にて

令和7年度求人・進路状況について

進路選択に向けて

5年学年主任 小川和郎

今年度の求人件数は昨年度から約5.5%減少しましたが、求人倍率は約25.8倍と高い水準を保っています。一方、進学率はコースによって多少の増減があるものの、全体としては昨年度とほぼ同じとなりました。この進学か就職かについては毎年多くの学生が悩むところですが、日頃からキャリアデザインを意識して考えて欲しいと思います。

最近ではインターンシップから就職に繋げる学生が多い傾向にあります。身の回りには多くの情報が錯綜していますので、自身の目で確かめることも重要です。年々、採用試験が早まっていますので、焦らないように日頃から準備しましょう。また、進学ではZENPENという高専OBが運営しているHPも大変参考になります。

専攻科

専攻科長 早水庸隆

今年度も専攻科全体で3,000人を超える求人数がありました。これを求人倍率にすると200倍を超えます（大学卒の求人倍率は1.66倍）。専攻科生の進路指導は、各部門の就職担当教員と特別研究指導教員が連携して対応しています。このため、就職希望者のほとんどが内定を得ることができています。一方で、専攻科から大学院に進学した学生は実践性と高い研究開発能力を兼ね備えた人材として評価されています。今年度は生産システム工学専攻で6名の学生が大学院に進学しました。本校は福井大学大学院工学研究科、早稲田大学大学院情報生産システム工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学、鳥取大学大学院持続性社会創成科学研究科工学専攻、九州工業大学大学院生命体工学研究科、広島大学大学院先進理工系科学研究科と協定を結んで大学院への進学を支援しています。

本科の求人・進学状況（令和8年1月末日現在）

コース	卒業予定数	就職希望者数	就職内定者数	求人件数	進学希望者数	大学決定者数	本校専攻科 進学決定者数	その他
M	29	21	21	739	8	5	2	0
E	41	26	26	776	14	9	5	1
J	33	23	22	741	10	3	6	0
C	43	27	27	490	15	10	5	1
A	39	27	27	459	11	6	5	1
合計	185	124	123	3,205	58	33	23	3

専攻科の求人・進学状況（令和8年1月末日現在）

専攻	修了予定者数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	進学決定者数	その他
生産システム工学専攻	15	8	8	2,158	6	6	1
物質工学専攻	3	3	3	472	0	0	0
建築学専攻	4	4	4	439	0	0	0
合計	22	15	15	3,069	6	6	1

「米子高専生のための進路研究セミナー」開催報告

キャリア支援室長 大塚 宏一

令和7年12月20日（土）に米子コンベンションセンターにて「米子高専生のための進路研究セミナー」を開催しました。今年度は企業212社、大学及び大学院17ブース、地元自治体等4団体の合計233ブースでの実施となり、本校から本科3・4年生、専攻科1年生、その他希望する学生及び保護者を対象に約400名が参加しました。

本セミナーは企業や大学の担当者、ならびに米子高専OB・OGから会社や業界及び大学・大学院等について紹介を受ける貴重な機会であり、就職活動やインターンシップ等への理解を深めるキャリア教育の場と位置付けて実施しています。出展企業については県外企業だけでなく、学生の地元定着を図るべく、米子高専を支援する地元企業等の団体である「米子高専振興協力会」へも呼び掛けを行い、78社に参加いただきました。また、地元企業への理解促進と将来的な地元への人材確保に繋げるべく、地元就職応援コーナーとして鳥取県、米子市、倉吉市、安来市にもブースを設けていただきました。

キャリア支援室では学生一人ひとりが自分のキャリアについて自律的に考え、選択していけるように、引き続き本セミナーを開催して参ります。



民間企業や地元自治体ブースでの説明の様子

球技大会の運営を通して学んだ連携の大切さと試行錯誤

学生会体育副局長 3A 高虫 直 弥

今回の球技大会では、初めて運営に携わり、開催に至るまでの準備や運営側としての責任の重さを実感しました。準備期間中は「自分でやった方が確実で早い」と考え、多くの仕事を一人で抱え込んでしまい、他の学生に仕事を振れなかったことが大きな反省点です。この経験から、仲間を信頼して仕事を分担することの大切さを学びました。また、競技ルールの作成にも苦勞し、全員が平等に楽しめるよう、自分なりに何度もシミュレーションを重ねました。その結果、本番では競技を楽しんでくれた学生が多く、その点は良かったと感じています。さらに、大会を盛り上げるために用意した大量の景品のお菓子も好評で、準備して本当に良かったと思いました。一方で、想定外の状況が次々と起こり、「もっとさまざまな場面を想像しておくべきだった」と自分の見通しの甘さを痛感しました。

今回の運営では力不足を感じる場面もありましたが、この試行錯誤や本番での失敗こそが、私にとって最も大きな学びとなりました。この経験を次に活かし、今後は周囲を見ながら柔軟に行動できるようになりたいです。



気配切りの様子



ドッジボールの様子

令和7年度学生表彰

—優秀賞（在学中顕著な成績を修め、優秀な賞を複数回受賞した者）—

学業優秀	5 M	吉田 浩瑛	日本機械学会島山賞			
学業優秀	5 E	景山 奏	電気・情報関連学会中国支部賞			
学業優秀	5 J	波田 祈莉	電気・情報関連学会中国支部賞			
学業優秀	5 C	高橋 悠	日本化学会中国四国支部支部長賞			
学業優秀	5 A	赤路 素春	日本建築学会中国支部優秀卒業生			
学業優秀	2 S	八田 友維	日本化学会中国四国支部支部長賞			
学業優秀	2 S	似内 暁彦	空気調和・衛生工学会学生賞			
課外活動等	5 M	大倉 拓真	第70回NHK杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門 優勝			ほか
課外活動等	5 M	長谷川ゆい	第60回全国高等専門学校体育大会卓球競技女子団体 優勝			ほか
課外活動等	5 M	吉田 浩瑛	リジェネロン国際学生科学技術フェア（Regeneron ISEF 2024）日本代表として参加 優秀賞4等			ほか
課外活動等	5 J	富谷 彩愛	第70回NHK杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門 優勝			ほか
課外活動等	5 C	石田 朝稀	第60回全国高等専門学校体育大会卓球競技女子団体 優勝			ほか
課外活動等	5 A	越田 奏羽	第21回全国高等専門学校デザインコンペティション2024 in 阿南 構造デザイン部門 最優秀賞			ほか
課外活動等	5 A	榎野 永人	第22回全国高等専門学校デザインコンペティション2025 in 福井 構造デザイン部門 最優秀賞			ほか
課外活動等	2 S	若林 遥大	ボランティア功労に係る鳥取県警からの感謝状（サイバー犯罪対策課長名）			

—米子商工会議所会頭賞—

5 M 森下 央翔	5 E 山根 健太	5 J 波田 祈莉	5 C 田口 叶子	5 A 遠藤 諒悟
2 S ウェスレイ	生産システム工学専攻	2 S 篠田 和希	物質工学専攻	2 S 佐藤 政大
			建築学専攻	

令和7年度スポーツ協会・教育委員会表彰

鳥取県スポーツ協会

ヨット部	2-2	井上 航汰	スポーツ賞（個人）	卓球部	4 E	常松 世名	スポーツ奨励賞（個人）
水泳部	3 M	森 映太	スポーツ奨励賞（個人）	〃	3 C	石田 皇翔	〃
〃	3 C	梶村 涼太	〃	〃	5 M	長谷川ゆい	スポーツ奨励賞（団体）
〃	2-1	柳樂 大	〃	〃	5 C	石田 朝稀	〃
〃	3 C	金塚 亮英	スポーツ奨励賞（団体）	〃	4 C	北尾 夏帆	〃
〃	1-4	黒見 凌生	〃	〃	4 C	清水 優那	〃
テニス部	4 C	原 花楓	スポーツ奨励賞（団体）	〃	1-2	加納 陽菜	〃
〃	3 E	山崎 詩子	〃	柔道部	4 A	三島菜都子	スポーツ奨励賞（個人）

鳥取県高等学校体育連盟表彰

ヨット部	2-2	井上 航汰	スポーツ賞（個人）	卓球部	女子		スポーツ賞（団体）
水泳部	男子・女子		スポーツ賞（団体）	〃	3 C	石田 皇翔	スポーツ賞（個人）
〃	3 M	森 映太	スポーツ賞（個人）	剣道部	女子		スポーツ賞（団体）
〃	3 C	梶村 涼太	〃	〃	2-3	吾郷 真優	スポーツ賞（個人）
〃	2-1	柳樂 大	〃	テニス部	女子		スポーツ賞（団体）

米子市スポーツ協会

ヨット部	2-2	井上 航汰	スポーツ賞	水泳部	1-4	黒見 凌生	スポーツ奨励賞
卓球部	4 E	常松 世名	スポーツ賞	陸上競技部	2-3	小谷みらい	スポーツ奨励賞
〃	3 C	石田 皇翔	〃	〃	1-2	佐々木 丈	〃
柔道部	4 A	三島菜都子	スポーツ賞	卓球部	女子団体		スポーツ賞
水泳部	3 M	森 映太	スポーツ賞	テニス部	女子団体		スポーツ賞
〃	3 C	梶村 涼太	〃	水泳部	男子4×100mフリーリレー		スポーツ賞
〃	2-1	柳樂 大	〃	〃	男子4×100mメドレーリレー		〃
テニス部	3 E	鎌本 侑輝	スポーツ奨励賞	バドミントン部	男子団体		スポーツ奨励賞
〃	1-1	足立京之介	〃	〃	女子団体		〃
〃	4 C	原 花楓	〃	剣道部	男子団体		スポーツ奨励賞
〃	3 E	山崎 詩子	〃	〃	女子団体		〃
バドミントン部	4 M	元岡 祐輔	スポーツ奨励賞	水泳部	女子4×50mフリーリレー		スポーツ奨励賞
〃	4 E	嶽川 裕翔	〃	卓球部	女子団体		スポーツ奨励賞
剣道部	5 E	三浦 和奏	スポーツ奨励賞	バレーボール部	男子		スポーツ奨励賞
〃	5 A	三浦 和花	〃	〃	女子		〃
〃	2-3	吾郷 真優	〃	バスケットボール部	男子		スポーツ奨励賞

境港市スポーツ協会表彰

ヨット部	2-2	井上 航汰	スポーツ賞	少林寺拳法	3 M	田口 慧	スポーツ奨励賞
空手道部	3 M	石倉 羽陽	スポーツ奨励賞				

湯梨浜町体育協会表彰

テニス部	3 E	山崎 詩子		卓球部	4 C	清水 優那	
------	-----	-------	--	-----	-----	-------	--

北栄町スポーツ表彰

剣道部	1-5	齋藤 陽斗	スポーツ敢闘賞
-----	-----	-------	---------

岩美町体育会表彰

ライフ	1-4	入江 実波	スポーツ賞（個人）
-----	-----	-------	-----------

伯耆町教育委員会表彰

バスケットボール部	5 A	江崎琉之介	スポーツ優秀賞	放送部	3 J	若林 暖大	芸術文化大賞
テニス部	3 C	矢田貝直志	スポーツ賞				

【吹奏楽部】 音楽が繋いだ時間

吹奏楽部 3E 森 朝陽

私たち吹奏楽部は、今回の演奏会で日々の練習の成果を十分に発揮することができました。演奏後に会場からいただいた温かい拍手や声援に触れ、音楽には人の心を動かす大きな力があると改めて感じました。この経験は私たち1人1人にとって大きな自信となり、今後の活動への励みになります。これからも仲間とともに努力を重ね、より良い音楽を届けていきたいです。引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。



吹奏楽部ステージの様子

【合唱部】 響き渡る歌声を信じて

合唱部 3C 角 和奏

私たちはこの定期演奏会に向け、限られた時間の中で最大限の努力を重ねてきました。時には衝突することもありましたが、それを乗り越えたことが一人ひとりの成長につながったと感じています。皆が一体となって作り上げた音楽が、皆様の心に少しでも届けば幸いです。これからも息の合った演奏を目指し、精進してまいります。今後とも温かい応援をよろしくお願いいたします。



合唱部ステージの様子

【放送部】 eiga worldcup 最優秀女子演技賞& 中国高校放送コン優勝!

放送部 3C 徳中美桜

我々が制作したお弁当映画『ふたをあけておもう。』が、高校生のための eiga worldcup2025 で最優秀女子演技賞、優秀美術賞、優秀編集賞を受賞しました。私は監督、主演として携わり、限られた製作期間の中でよりよい作品にするために、脚本構成や演技を何度も部員と話し合っ、最後までこだわりました。撮影を動かすこと、作品を完成させることへのプレッシャーや責任は重たいものでしたが、そんな中で共に頑張ってくれたもう1人の共同監督と一緒に作品を作ってくれた部員には感謝してもしきれません。皆で作品を作り、沢山の方に評価いただけた経験は私にとって大きな糧となりました。

また、2年生以下のチームがつくった番組「水鳥公園 30 周年」は中国地区高校放送コンテスト AM 部門で初優勝しました。VM 部門でも第3位に輝きました！興味のある方、是非とも一緒に活動しませんか？絶賛部員募集中です。



eiga worldcup 表彰式会場（東京富士大学）前にて

【B&C 研究同好会】学会参加を通して広がる研究活動

B&C 研究同好会 3A 實近はるの

私は、UV クリームの開発に取り組んでいます。本研究では、クリームに含まれる有機物が紫外線によって分解されるメカニズムを解析し、その分解を抑制する方法について検討しています。廃棄物から得られる素材の有効活用という環境学的な視点に加え、化粧品分野への興味が本研究のきっかけです。日本化学会中国四国支部大会ではポスター発表を行い、他高校や大学の学生、研究者の方々に研究内容を紹介しました。多くの方に私の研究に興味を持ってもらえたことは大きな励みとなり、学会に参加することで新たな視点を得て、さらなる研究の発展につなげています。また、本研究は優秀ポスター賞を受賞し、これまでの取り組みが評価されたことが自信につながりました。今後も研究を深め、よりよい成果を目指して努力していきたいと考えています。



日本化学会中国四国支部大会でのポスター発表の様子

マレーシア・パハン大 Faiz 先生による英語授業

国際交流支援室員 遠藤 香菜子

令和7年12月にマレーシア・パハン大学のFaiz先生による英語授業を実施しました。この取り組みは本校で毎年行っているものです。今年度は本科1年生全員と専攻科1年生を対象として、他民族社会について講義を行いました。マレーシアという国はマレー系、中国系、インド系といった様々な民族が共存し、多様な言語や文化、伝統的行事を共有する一方で、居住区の分離、言語の壁や意思疎通の問題、経済格差といった課題も抱えています。政府は「1 Malaysia」運動などで国全体がまとまることを推進しており、多様化が進む日本にとっても「違いを認め尊重し合うこと」が非常に重要になるという内容でした。すべて授業は英語で行われたのですが、学生は時折内容を理解するのに苦戦しつつも、配付資料を参考にしながら、内容を理解しようと頑張る姿を傾けていました。授業の最後には、Kahootという学生参加型のクイズも用意されており、大いに盛り上がりました。このような外部講師による英語授業を通して、英語の勉強に対するモチベーションが上がったり、海外の文化や価値観に興味を抱いたりする学生を増やしていけたらと思います。



1年生への英語授業



Christmas party

ふるさと納税による米子高専へのご支援に、心より感謝申し上げます!

米子市との連携により、ふるさと納税を通じて米子高専を応援できる新しい仕組みがスタートしています。

この制度では、「**寄附者の皆さまは返礼品と税控除が受けられ、寄附額の約半額が米子高専の教育・地域連携の充実に活用される。**」という、双方にメリットのある仕組みとなっています。

昨年度は約1,400万円のご寄附をいただき、皆さまのお気持ちのこもったご支援の半額のうち500万円を今年度は以下の取り組みに活用いたしました。本当にありがとうございます。

【令和7年度 活用事業】

■ Uターン促進・卒業生ネットワークづくり

- ・米子高専公式LINE立ち上げ
- ・Uターン卒業生による講演会
- ・全卒業生・修了生への各種案内送付、Uターン支援アンケート など

■ 理系人材の早期育成支援（地域連携講座の充実）

- ・公開講座・出前講座・エンジョイ科学館ほか → 85件実施/延べ2,531名が受講



公式LINEメニュー



Uターン卒業生講演会



エンジョイ科学館（建築模型館）



公開講座（クリスマスリース作り）

米子高専では、いただいたご寄附をもとに、**教育研究の充実と地域に根ざした活動**をさらに推進してまいります。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

▶ 詳しくはこちら（HPリンク）

QRコードを読み取ってご覧ください。 →



米子高専公式 SNS にぜひご参加ください!

学生・保護者の皆さまに、学校の「今」を手軽に受け取れるよう、各種SNSを運用しています。



米子高専 公式SNSはじまりました!
友だち追加・フォローお願いします



卒業生は今 vol.37



竹田 紗希 (たけだ さき)

2017年3月 米子高専 物質工学科 卒業

2019年3月 米子高専 専攻科 物質工学専攻 修了

2019年4月 CHEMIPAZ 株式会社 入社

■高専時代

高専を選んだ理由は、理数系科目が好きだったことと、普通の高校とは大きく異なる自由な校風に憧れたためでした。入学してみると、想像以上に学生の自主性に委ねられた環境で、自己管理能力と積極性次第で得られる経験も成長も大きく変わること戸惑った記憶があります。私は良くも悪くも穏やかに学生生活を送り、卒業した今振り返ると、せっかくの環境の中でもっと様々なことに挑戦してみるべきだったと後悔も多いです。

■高専時代の研究内容概略

本科・専攻科の研究では、固液中間相である rotator 相を形成する物質を扱いました。固液中間相とは、固体と液体の中間の性質を持つ状態のことで、代表的なものとしてはディスプレイに使われている液晶があります。

私が研究していた rotator 相は、一見固体（分子が静止している状態）のように見えて、実際には分子が回転や移動を行っているという性質を持つ状態です。研究では有機合成と分析を繰り返して試行錯誤し、新規化合物の合成と物性評価を行いました。化学メーカーに勤める現在、製造や研究に直接携わってはいませんが、当時得た知識や経験は今も活かされています。

■現在の仕事内容

専攻科修了後は CHEMIPAZ 株式会社に入社しました。CHEMIPAZ は、製紙用薬品をはじめとする各種化学製品を製造する化学メーカーです。現在は全国の工場や研究所における環境保全や安全確保を統括する部署に所属し、温室効果ガスの削減や化学物質の適正管理、各種社内研修等の業務にあたっています。これらの活動は「レスポンスブル・ケア」と呼ばれ、一歩間違えば社外に多大な影響を及ぼす化学物質を製造・取り扱う企業として果たすべき社会的責任の一環です。

学生の頃は、化学分野が環境・安全に対して負う責任の大きさに無自覚でしたが、現在は技術力だけでなく、環境や社会への配慮も含めた総合的な視点の重要性を日々実感しています。

■高専生の皆さんへ

専門技術や知識だけではなく、自分たちの活動が社会や環境に与える影響についても考えてみてください。皆さんが学んでいる専門分野は、必ずどこかで社会や環境とつながっています。自分の専門分野が社会でどのように活かされているのか、どのような影響を与える可能性があるのかといった広い視野を持って学んでみると、新たな発見があると思います。社会全体の環境や安全への意識が年々強まる中で、このような視点を持つことは、将来技術者として活躍する際の大きな強みとなるはずです。



※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科(機械システムコース)、E…電気情報工学科(電気電子コース)、D…電子制御工学科、J…情報システムコース、C…物質工学科(化学・バイオコース)、A…建築学科(建築デザインコース)、G…教養教育部門、S…専攻科
例えば、「2-1 (M)」は2年1組機械システムコースの学生を表しています。

発行：米子高専広報室 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009
ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ PDF印刷：勝美印刷株式会社



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第125号

令和8(2026)年3月 発行
米子工業高等専門学校図書館

「ビブリオバトル」を開催しました

図書館・リベラルアーツセンターでは、「ビブリオバトル」を、10月17日(金)16時10分から、アカデミックシアターにて開催しました。

ビブリオバトルは、「誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲーム」で、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに全国で広く活用されているものです。(「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」<https://www.bibliobattle.jp/home>より)

出場者(バトラー)の募集に対して、今年度は6名の学生からエントリーがありました。

○バトラー

学年・組	名前(発表順)	紹介図書(著者)
3 A	實近 はるの	52ヘルツのクジラたち(町田そのこ)
3 C	川田 愛	狂気の山脈にて(H・P・ラヴクラフト)
3 C	豊田 彩陽	殺戮にいたる病(我孫子武丸)
4 E	竹歳 湊人	桐島、部活やめるってよ(朝井リョウ)
4 C	福住 陽路	ホワット・イフ?:野球のボールを光速で投げたらどうなるか(ランドール・マンロー)
1-1	鷲見 優有果	光のところにいてね(一穂ミチ)

当日は、司会の図書館・リベラルアーツセンター長からルール説明や出場者の紹介が行われ、図書委員がタイムキーパーとしてサポートしました。また、観戦者としての学生の参加もあり、合わせて14名(学生9名、教職員5名)が集まりました。

参加したバトラーのみなさんは、公式ルールと同じ5分間のプレゼン時間の中で、それぞれが持ち寄ったお気に入りの本についての発表を行いました。プレゼン終了後には、参加者からのバトラーへの質問を基にディスカッションが行われました。最後に、「一番読みたくなった本」を基準に参加者全員で投票を行い、「チャンプ本」(最優秀賞)には4 E 竹歳 湊人さんの『桐島、部活やめるってよ(朝井リョウ著)』が選ばれました。

(図書館・リベラルアーツ副センター長 藤田 剛)

「ビブリオバトル」を開催しました



図書館長による開会の挨拶



出場者のプレゼンの様子



ディスカッションの様子



参加してくれたバトルのみなさん

2025年「校内ビブリオバトル」参加者の感想

○バトルの感想

4E 竹歳 湊人

ビブリオバトルの魅力は、文字だけで構成されている本の内容を、話し手の言葉や声、雰囲気といった非言語的な要素を通して伝えられる点にあると思います。僕のようにあまり文章を書くことが得意でなくても、本に対する熱意や思いがあれば、その魅力を十分に伝えられることが良かったです。そして何より、他の人が「一番おすすめしたい本」を知ることで、自分では手に取らなかった本と出会えたことが一番嬉しかったです！

3C 川田 愛

高専3年間を通して、今回初めてビブリオバトルに参加しました。普段は自分のために本を読んでいたのですが、紹介する立場として、作品の魅力をどのように分かりやすく伝え、聞き手の好奇心を引き出すかを考えながら読み直すことで、これまで気づかなかった新たな側面を発見することができました。また、他の参加者との交流を通して、本との向き合い方を見直す良い機会となり、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

「ビブリオバトル」を開催しました

3A 實近 はるの

今回のビブリオバトルで「52 ヘルツのクジラたち」を紹介しました。自分の好きな本について人前で話すのは緊張しましたが、物語を通して感じた思いや心に残った場面を言葉にするのは新鮮で楽しかったです。他の参加者の発表でも、「その本を読みたい」と素直に思える瞬間がたくさんありました。本を通して人の考えや感情に触れられるビブリオバトルは、読書の楽しさを改めて感じられる貴重な体験ができて良かったです。

1-1 鷺見 優有花

ビブリオバトルの参加は初で緊張していましたが、知らない人に発表する機会は貴重で楽しかったです。発表の前半は、緊張して声がうまく出ませんでした。後半は落ち着いて発表することができました。自分のまとめとしては、きちんと自分の言いたい本の魅力を伝えられて良かったです。また他の人の紹介のポイントや本の種類なども人それぞれで、発表を聞いているだけでも非常に面白かったです。ぜひ次回も参加できればなと思いました。

○図書委員スタッフ、当日参加者の感想

1-3 谷口 悠紀乃

紹介者の皆さんが熱量を持って本を紹介していて印象に残るものばかりでした。自分では選ばないジャンルの本も紹介されていて興味をそそられました。本を通して他学年で交流できる良いイベントだと思うので、もっとたくさんの人に参加してほしいです。

1-5 横山 樹夏

自分が普段は読まないジャンルの本にも触れられた貴重な時間でした。また、会場全体が楽しさに包まれたとてもいい雰囲気でのビブリオバトルでした。

3C 妹尾 美鈴

私は普段あまり本の紹介を聞くことがないのですが、今回のビブリオバトルで誰かの本の紹介を聞いてみて、一人一人が本から感じ取れた思いがよく伝わってきて「読みたい」と感じる本が増えました。

図書館からのお知らせ

- ① 講義棟で貸し出しを行っていた、TOEIC 関連図書が図書館の TOEIC コーナーへ移動しました。資格勉強にぜひ活用ください。
- ② 鳥取県立図書館・米子市立図書館などから図書の取り寄せ・展示を行っています。貸し出し可能です。ぜひご利用ください。
- ③ 現在、閲覧室が部分的に立ち入り禁止になっています。お手数おかけしますが、過去の部門図書・郷土資料周辺の閲覧を希望をされる方はカウンターまでお越しください。
- ④ 長期未返却図書がある学生は、春季休業期間に入る前に返却をお願いいたします。
毎週水曜日の、16 時ごろに督促メールが自動配信されていると思います。必ず確認をして、速やかに対応をお願いします。もし、紛失・破損等で返却ができない状態であるならば、その旨を Teams のチャットにご連絡ください。
返却の手続きを進めさせていただきます。ほかの学生の閲覧機会を逃していますので、ご協力お願いいたします。

図書館業務・活動記録

12月10日(水) ビブリオバトル表彰式(校長室)
12月1日(月)～25(木)
 冬季休業中の長期貸し出し(特別貸出)実施
1月6日(火) 臨時休館(地震発生による安全確保のため)
1月22日(木) 臨時休館(大雪による登校禁止のため)

1月24日(土)・25(日)・31日(土)・2月1日(日)
 学年末試験時の開館
2月1日(日)～3月16日(月)
 春季休業中の長期貸し出し(特別貸出)実施
2月 図書館運営委員会(第3回)
3月 としょぶらりの発行
3月 研究報告第61号の発行